

アルプス(ALPS)処理水海洋放出反対

署名(オンライン&署名用紙)

推進ニュース



みやぎ生協・コープふくしま

推進事務局 情報発信チーム

発行日 2021/10/27

No. 13

賛同署名総数は	34,311	人
10/25まで		
*オンライン署名	4,695	人
*署名用紙署名	29,616	筆

<https://www.change.org/Save-the-Ocean-fm>



みやぎ生協・コープふくしまは
東京電力福島第一原発事故におけるアルプス処理水
(冷却水などの汚染水)の海洋放出に反対です。
反対署名運動へのご協力をお願いします。

オンライン署名は右QRコードで直接 署名サイトへアクセスできます。
★オンライン署名と併せ署名用紙での署名も行っています。HPまたは事務局へお問い合わせをお願いします。

< 署名呼びかけ人トップインタビュー 第2回 >

みやぎ生協・コープふくしま 大越健治専務にお聞きしました。
～『ALPS処理水海洋放出に反対する署名』実施への思い～



▶風評被害に苦しむ漁業者

ALPS処理水海洋放出決定は漁業者との合意のない一方的な発表だと感じました。宮城には宮城の被害者意識があります。東日本大震災以降、福島県同様、宮城県も風評被害を受けてきましたが、福島ほどしっかり説明を受けておらず、補償もありません。宮城県漁業関係者は政府への不信感が募っており、風評被害に対しての不安は大きいです。震災以前、国内消費よりも韓国での消費が上回っていた宮城県産ホヤ。原発事故で最大の出荷先を奪われ、現在も風評被害は消えていません。

▶コロナ下でも生協らしい署名を！

被災3県の思いをまず形にしなければという思いで立ち上げました。オンライン署名は画期的で、コロナ下の状況でも全国に拡散できる優れた手法だと思い取り組みをスタートしましたが、署名用紙を併用し始めてからの勢いに手応えと生協らしさを感じています。直接現地に赴くことができない中、オンライン学習会など全国生協への広がりが目に見え、反響の大きさを実感しています。



▶全国の皆さまに感謝いたします

東日本大震災以降10年以上ご支援をいただきありがとうございます。風化が進み、全国ニュースではなかなか取り上げられないALPS処理水海洋放出の話題をクローズアップしていただき、署名に共感、ご支援いただき感謝いたします。ALPS処理水海洋放出署名をきっかけに、各地で学習会を開催していただく等これまでのつながりが更に深くなっていると感じています。

▶大越専務ヒストリー

共同購入のセンター長、店舗商品部の惣菜統括、産直担当、生活文化部を経て専務に就任されました。大越専務から溢れ出る商品愛や組合員活動への理解、地域理事との信頼関係は経歴に裏打ちされたものだったんですね。

<みんなの声一挙紹介>①

全国から寄せられる学習会の感想や賛同コメント。たくさんのご意見、疑問、想いを紹介します。



◆気づき、学び

・廃炉の際に想定されていた放射性廃棄物があり、福島原発事故では多量の廃棄物が生み出されたことを数字で確認し、改めて今回の事故の大きさを知ることができました(福島県)・処理水と汚染水との違いが腑に落ち、政府が都合よく説明していることに気が付くことができました(福島県)・いろいろな角度からこの問題を知ろうとしないといけないと感じました(福島県)・ALPS処理水という言葉の意味さえ知りませんでした。ALPS処理水の仕組みや処理の問題点を知ることができました(北海道)・海へ流すことが廃炉には決してつながらないことがわかりました(東京都)・世界ではどこの国でも流しているという「欺瞞」についてよく理解できました(北海道)・最悪の発電装置に疑問を持たずに頼ってきた生活を反省するとともに、声をあげて多くの人に知らせなければならないと強く感じた(宮城県)

◆納得！共感！

・知らないで安全と思うことは危険なことだと思いました。きちんと学習して確かな情報を得ることが大切だと思いました(沖縄県)・決して風化させず、発信し続け、最後まで見届けなければならないと思いました(山形県)・トリチウム以外にも様々な放射性物質を含んでいると分かり、それが海洋放出されることは怖いと感じました(北海道)・海洋放出ありきの議論であきらめモードでいましたが、福島県民としてできることをやらなければいけないと思いました。

●署名用紙での署名

県内各地そして全国からたくさん届いています。
この日はなんと892通もの署名用紙が届きました。(郵送で)



●エフコープ生協(福岡県)さんからのご案内

東日本大震災から10年をふりかえる「オンラインふくしまの旅」



エフコープでは、コープふくしまなどのご協力のもと、2013年度から毎年、「福島訪問の旅」と題した訪問企画を実施しています。東日本大震災から10年の節目となった今年、あらためて福島の今を知る「オンラインふくしまの旅」を開催します。オンラインですので、全国どこからでも！ご参加いただけます。あらためて、原発事故の影響も感じる内容でもあり、「アルプス処理水海洋放出に反対する署名」活動にもつながればと考えています。ぜひご参加ください。■日時 11月11日(木)10:30~12:00■参加方法:w eb会議ツール「ZOOM」を活用してご参加いただけます。(参加費無料・通信費は各自負担)■要事前申込制としています。10月29日(金)までに、以下よりお申込みください。
<https://www.fcoop.or.jp/event/shinsaishien/12684> ◆問合せ 経営企画部 安元Tel 092-947-0595

<編集後記>erikoのつぶやき

・コロナ感染予防のために休止していた『復興公営住宅ふれあいサロン』が再開しました。サプライズ壁面製作が恒例化しつつある川俣の団地。最終形態を伝えずに作業を進めていき、みんなの作品を合体すると…！パーツを付けると…！といった、完成してのお楽しみ展開を楽しんでいます。10月はハロウィンに因みかぼちゃのバッグとお化けのモバイル(吊るし飾り)製作。最後はお菓子が入ったくす玉を割って、作ったばかりのかぼちゃバッグにお菓子を詰めて持ち帰りました。みんなで顔を合わせて笑って過ごせるのは、心が震えるくらい幸せなことだし、しみじみ感じたサロン活動でした。

<情報・お問い合わせ先>

みやぎ生協・コープふくしま 福島県本部内
「アルプス(ALPS)処理水海洋放出に反対する署名」推進事務局
〒960-8566 福島県福島市森合字清水7番地 コープふくしま いずみ店2F
Tel.024-557-1181 FAX557-5359 * mail :sn.f10243sn@todock.coop (根本)

